

市民代表者・市議会議員へのアンケート結果概要

令和5年8月2日

1 アンケート項目

- ① 本日の説明会について、ご感想をお聞かせください（ご出席いただいた方のみ）。
- ② 使用済樹脂貯蔵タンク増設工事について、ご意見をお聞かせください。
- ③ 原子力発電に関連すること、その他ご意見があればお聞かせください。

2 回答数（令和5年8月2日現在）

対象者：70名、回答者：52名（内、匿名での公表可としたもの38名）

3 概要の分析

アンケートは記述式であるため、それぞれの問題意識に従い、多様な回答が寄せられている。

「使用済樹脂貯蔵タンク増設工事に関すること」、「原子力発電に関連すること」の各項目について、主な回答は次のとおり。

(1) 使用済樹脂貯蔵タンク増設工事について

全体として、使用済樹脂貯蔵タンクの増設工事は、やむを得ないとするものの、保管はあくまでも一時的なものとし、使用済樹脂の処理、処分方法の確立、完成後における施設の安全管理の徹底などを求める意見が多く見られた。

【主な意見】

- 使用済樹脂貯蔵タンクの増設は、仕方がない。
- 使用済樹脂の処理方法の決定をできるだけ早期に行って頂き、安全性を持って処理していただきたい。
- 情報公開をしっかりとってほしい。
- 事故がないよう安全に工事を行ってほしい。
- 施設の運用にあたっては、安全管理と環境保全を優先してほしい。

(2) 原子力発電に関連すること、その他全般

地球温暖化対策や電力の安定供給、現在の燃料の高騰化の観点から、原子力発電に肯定的な意見も見受けられた。

原子力発電に否定的な立場の方からは、原子力発電所の廃止を求めるものもあった。また、最終処分場問題の解決を望む意見もあった。

【主な意見】

- 国が脱炭素を目標にしている以上、太陽光・水力・火力で、電力がまかなえないのであれば、原子力も必要不可欠である。
- 国の責任において最終処分の場所や方法を早く取りまとめてほしい。
- 原子力発電は、日常生活に必要ではあるが、安全対策を徹底し、十分に情報を公開することで、市民の不安を少しでも減らしてほしい。
- 原子力に関する説明会や戸別訪問等による地域住民への説明を継続し、原子力事業者と住民の信頼関係の醸成に繋げてもらいたい。
- 最終処分場も決まらないのに原子力発電はやめるべきだ。

※ なお、公表可とされた方の意見は、字句修正及び氏名や個人が特定できる情報等を削除し、原文のまま別紙のとおり公表します。